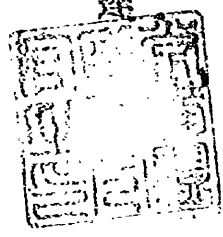


司令長官
參謀長

參謀
大澤
副官

宮第一六三號

明治
年
月
日
進達



別紙報告書軍艦射撃規則第廿四条之標り提出候也

明治三十四年四月廿日

宮古艦長海軍中佐代古郎



常備艦隊司令長官東郷平八郎殿

第九四二號

射手、熟否及其他射撃ニ関スル要件

調査報告

一、射手、技量、漸ク進ヒ習熟ノ域ニ進ミツ、アルモ尚充分ノ鍛練ヲ要ス。昨三年度ニ在リテハ本艦任務上充分ナル實地訓練ヲナスノ場所ト時機トヲ缺キシモ其状勢、許セシ限リ、實行訓練ヲナレタル者ナルヲ信ス

二、別紙報告、如ク一年度ヲ通シテ射撃ヲ完了セシ射手ト部署者変更等ノ為ニ完了セサル兵員トノ差ト比較的大ナル遺憾ナリトス。此レ本艦就役トシテ得サルコトナルベク又射手タル一キ者、進級轉乘満期等ニ重ナル基因トス一キモ其交代頻繁ナル由ニ到底熟達セル射手ヲ得ル能ハス故ニ其部署者又ハ事情ノ許ス限リ基因トスル所ヲ豫察シ年度ノ初期ニ於テ部署ヲ定メタル以上ハ成ルヘク射手タルモノ、

部署ヲ変動セサルコトヲ要スルナリ

別表参照

軍艦射撃規則ニヨリ射撃ヲナスニキ射手定員

二四

年度射撃ヲ完了シタル射手員数

八

部署変更ノ有リ年度射撃ヲ完了セサル射手員数

二九

三本木子中施行セシ夜中射撃ノ方法要略

夜中射撃

廿三年十二月十日夜清國領清湾内碇泊中水雷艇襲撃ニ擬シ移動標的ヲ用ヒ實弾ヲ發射ス

一移動標的汽艇ヲレシテ標的艇ヲ牽引セシム

二規約信号ハ極メテ簡單ナルヲ要ス

三水雷艇防護ニ對スル操法ニ準據レテ一定照尺ヲ用ヒ修艇兵只

彈着ヨリ射手ノ能力ニ任スニキコト

廣島高等海防

四、本艦、龍骨線ヲ引舟ナル汽艇ニ同示セムルヲ

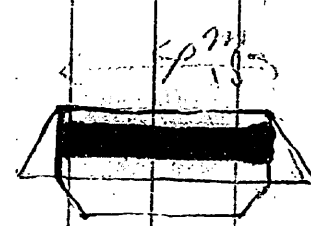
此レ汽艇ヲレテ正レク艦ノ縦線ニ平行ニ駛走セシムル有ニレテ而シテハ
距離索ハ充分ノ效用ヲナスレテ汽艇ニ比較的大ナル危険ヲ及ボリ以
テナリ

五、汽艇ハ標的艇ト區別スル為メ識別燈ヲ掲クルヲ

六、各砲ノ照準線ハ必ズ汽艇ハ標的艇ト直線ニ直線ニ直角若クハ直角ニ近キ
所ニ標的艇未リタル件ヲ射スルヲト

右ノ主旨ヨリ左ノ如ク實施セリ

標的艇ハ平幕ヲ張ルハ小形外艇ニシテ次圖ノ如シ



標的艇ノ全長 四米突 五

幕的ノ全長 四米突 五

横巾 一米突 六

其下端ヨリ水面迄一米突 五

幕の中、白、黒、巾の横巾、三分の一

約百米突、巨離索ヲ以テ汽艇ヲレテ高年カレシクモニレテ汽艇ニ誤射

ヲ防ク為メ信号用、青赤燈ヲ併揚セシメ本艦ニ於テ其キルライン

ヲ顯明ナラシムクノ兩橋ニ白燈一個ヲ掲ケ正レテ標的艇ヲレテ艦ノ縦

線ニ平行シテ航支セムルニ便ニセリ汽艇速力五哩本艦ヨリ距離凡ソ

五百乃至八百米突ノ所ヲ駛走ス本艦ニ於テ水雷艇未裝(艇尾)ヲ

認シヤ直ニ探照燈ヲ以テ之ヲ照ラレ(標的艇ノ)后部砲ヲ(十二吋砲

ヲ除ク)順次ニ各二発ヲ射撃セシム

標的艇約六百高ニレテ本艦ヲ通過レ二回ノ通過ニヨリ各砲ノ射撃ヲ了レシ

汽艇ノ規約信号

探照燈 横振 數回

汽艇 白燈 一個

本艦ニ歸

打方止メ

打方待テ

回(赤) 回(白)

廣島海軍

射撃成績

夜射彈教十八

平均秒時六秒

密着降標的

命中とん 彈教二 其他概シテ良好ナリレ

一番保砲ハ演習中止鉤ヲ取外サリシモテ標的艇第一回通過際射

撃ヲナス能ハズ

五番保砲ハ彈藥供給ノ注意周到ナラズ第一回通過際ニ際シ充分射

撃機ガタムト云フニ機ヲ失セリ

当日晴天無月ニシテ風力一艦風潮ニ泊ス

要スルニ今回ノ夜中射撃ハ稀ニ実行サレ所ニシテ未ダ充分ノ研究ヲ經

タル者ト云フヲ得サルモ周到ナル注意ヲ以テモ極メテ安全ナル方途ヲト信ス

廣瀬大港灣碇泊中ノ艦内筒砲ヲ以テ此射撃ニ代ヘ以テ練磨シ重

コシハ漸ク進ヒ此種ノ射撃ニ慣習レ以テ其効力ヲ増進スル疑ヲ容レサ

ル所ナリ

四十五枚砲以下乘射砲ニテリテハ戰艦射撃手及夜中射撃手ニハ密着降標的

コ以テ系射スルコト

此距離苗頭ノ修整砲及砲架ニ對スル注意 彈道ニ因スル要訣 砲煙散槍ノ度等自ノ減壯裝藥場合ト異ナルヲ以テ 其實際際ヲ知ラセムルニ切實ナル方法ナルレト信ス

五十二母連射砲用一尹内筒砲彈裝包ニ就テ

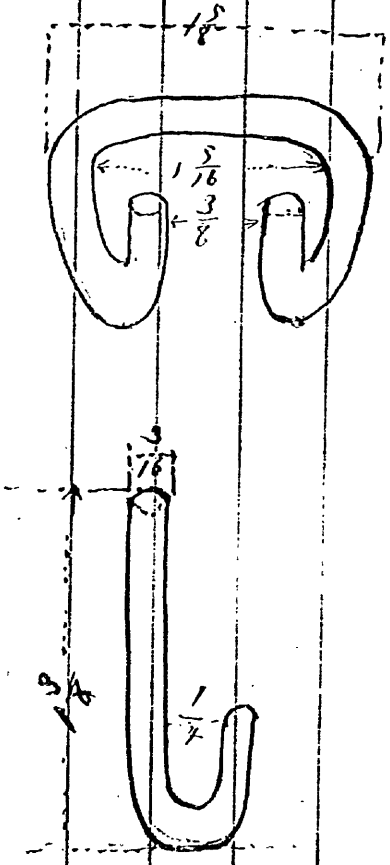
該彈藥包ハ初速小ニシテ壯裝藥燃燒ノ度不順タノニ 彈道ノ不定ヲ来テシ余中甚ク不確實ナリ此ヲ以テ發射毎ニ適當ノ修整ヲナス能ク先之本艦ニ於テ要訣セザル包内被蓋ト彈子ト同ニ空隙ヲ有スル者アリ又裝藥ト被蓋トガクガタニナリ居ル者少クカス此ニ制裝法ノ粗ナルニ因ルモノナルヘリ又火藥ノ質ニ多少ノ變化ヲ来タシ初速ノ不同不齊ヲ招クニ至リレモノナラン此種ノ内筒砲トシテハ初速少ナリトモ現砲裝藥ト等シク且彈道齊定ナル者ハ此ハ其效ナカレトモ思考ス

六四七母連射砲筒砲射撃ニ就テ

廣島高等海軍

現行の
會用
セリル

四七密速射砲用彈藥包形内筒砲用尾栓装置及打針、發條ノ切模ハ本
 艦裝備内筒砲身ニ對スル尾栓装置内敷度ノ内筒砲射撃ニ於テ完全尤
 モト誤ムル僅ニ尾栓全數ノ十分ノ四位ニシテ其他モ、悉ク打針、發條
 ニ破損ヲ生レ有ク、射撃ヲ停止シテ應急ノ修理ヲ加ヘ再ニ射撃ヲ有ス場
 合等モ不勘要スルニテ、大發條ノ壓力過強ナルニ打針及發條ノ
 脆弱ナルニ由ルナラシメ依テ大發條ノ壓力ヲ減少ナラシムルノ目的ヲ以テ左ノ如ク
 演習上釣、短少ナルモノヲ特製シテ目下試用中ナル結果大ニ良好ナリ



右報告仕候也

明治三十四年四月 日

海軍

宮古分隊長心得松村 正剛 印

宮古艦長八代六郎殿

廣島文庫坂本

1083

意見

一本艦射手ノ技量ハ左ノ状況一全一航走速力同一動搖等一
 下ニ於テ虜二回ニ虜一回ヨリ成績稍優レタルヲ認ム未分大
 進歩ヲ有レタルヲ見ズ現ニ教練射撃ト戰鬪射撃ト成績ニ於
 テ大差アリ認ム小官ニ教練射撃ニ練習竹ニ於テ艦隊
 艦艇ニ於テハ常ニ戰鬪射撃ト出来得ル限リ實戰ニ近キ方
 法ヲ以テ射手ノ習熟ヲ務メシメラレシコトヲ希フ

二〇三年十二月十日清國樂清湾ニ於テ水雷艇防衛操練シテ假
 水雷艇ヲ制衣レ之レ向テ實彈ヲ發射セシメタルニ射撃成績良
 好ニシテ射手ノ意氣見ル可キモノアリタリ然レニ危陰ヲ慮ル
 為テ各砲ヲシテ一齊ニ發射セシムト能ハズ假水雷艇ノ速力モ鈍ク
 巨離モ亦ク近カリキ故ニ之ノ射撃成績ノ良好ヲ以テ直々ニ射手ノ
 習熟ニ歸スル能ハズ然レニ其ノ如キ方法ヲ以テ屢々夜中射撃ヲ

五

五

ヲ施行スルコトハ兵員ノ心ト術トヲ鍛練スルニ於テ效果アル可キヲ信ス
 三 速射砲ノ戦闘射撃ノ中各種射撃ニ無煙常装薬ヲ用ユルコトハ
 至要ニ專ノコトナルヲ信ス其理由自明的ニシテ辨論ヲ要セス
 四 出来得可クハ十二冊砲以上ニ至ル迄乃至廿、以上ノ内筒砲ヲ製
 艦内時機ノ許ス限リ射術練習ヲ務ムルコトヲ要ト信ス

廣島高坂船

司令長官

參謀長

參謀

參謀

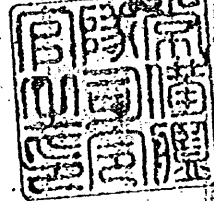
參謀

參謀

第九回

宮第一一三號

明治三十四年四月十五日



赤散彈及榴彈發射報告

明治三十三年十二月十日南清樂清灣外於保式四十七密輕
速射砲之赤散彈各一發(總彈數四)之發射セシメテ飛散狀態何トモ亦
通ナリト認ム

明治三十四年三月廿日南清臺州列島沖於岩石標的トシ距離二百
米突乃至六百米突榴彈之發射セシメテ十二枚及四十七密各砲共一發火確
實ニ炸裂狀態良好火藥燃燒模樣何トモ通ナリト認ム
右報告仕候也

明治三十四年四月十五日於上海 官署艦長 八代六

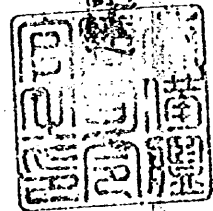
佐世保鎮守府司令長官 鯉島貞規 啟

海軍

海

宮第一二〇號

明治三十四年四月十二日



海防

艦砲射撃成績表進達

一艦砲射撃成績表

四通

一廿三年度軍艦官古砲射撃成績表

一通

右進達候也

明治三十四年四月十二日於上海

宮古艦長八代六郎



南備艦隊司令官宮東御平郎啟

九四二號

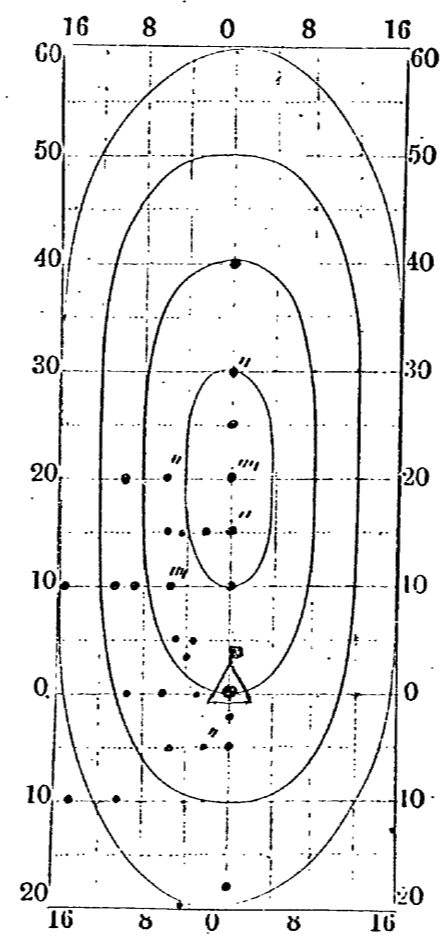
軍艦宮古 艦砲射撃成績表

明治廿三年 九月 十三日

天候	晴	風向	北東	風力	10	横動	最大 10 最小 5	縦動	10	速度	15里
平均距離	7000	平均秒時	22.3	發射彈數	50	不命中彈數	5	砲類	210mm		

第一楕圓内 十點
第二楕圓内 八點
第三楕圓内 六點
第四楕圓内 四點
最外角欄内 二點

實際標的ヲ破壊シタル彈丸ハ何レ
ニ落下スルニ係ハラヌ十點トス



合得點 **二八八**

効果得點 **五七六**

戰國力得點

備考
教務新設...
射撃...
...

明治廿四年 四月 日

宮古艦長海軍中佐 八代六郎 殿

宮古分隊長海軍中尉 村松三郎 殿

一該楕圓紙ハ初速六百米突未滿ノ重砲及一般ノ輕砲ニ使用ス
二該表ハ軍艦ノ射撃成績ノ報告ニ併用ス戰國力得點ノ報告トシテ用フルトキハ發射速度最下 限表備考中ノ例ニ準シ戰國力得點ヲ算出シ之ヲ記入ス
ヘシ但シ數種ノ砲ヲ混射スルトキハ各別ニ其ノ戰國力得點ヲ算シ然ル后之ヲ平均スルモノトス
〔註〕標的ノ黑點ハ水面上約二米突ニ在リ之ヲ其ノ彈丸ハ計算上標的ノ背後十米突附近ヨリ四十五米突附近ノ間ニ落下スヘキコトナル故ニ
此間ニ畫タル楕圓内ヲ最高點トス
三効果得點ハ合得點ヲ發射彈數ニテ除シ其ノ平均點數ヲ求メ之ヲ十倍シタルモノトス
四跳彈ハ有效界限内ニ達スルモ無効トス
五該表ハ成績調製ノ後各砲手ニ關スルモノハ之ヲ本人ニ下附シ保存携帶セシム

第四表

軍艦宮城砲 射撃成績表

明治 世三年

五月 十日 施行

砲種	番號	距離	平均		命中	總得點	速度	記事	艦名若ハ氏名	風候	
			離	發射						風向	風力
連射砲	番七番	一〇〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	一一〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	一二〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	一三〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	一四〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	一五〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	一六〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	一七〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	一八〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	一九〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	二〇〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	二一〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	二二〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	二三〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	二四〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	二五〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	二六〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	二七〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	二八〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	二九〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	三〇〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	三一〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	三二〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	三三〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	三四〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	三五〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	三六〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	三七〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	三八〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	三九〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	四〇〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	四一〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	四二〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	四三〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	四四〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	四五〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	四六〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	四七〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	四八〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	四九〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	五〇〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	五一〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	五二〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	五三〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	五四〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	五五〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	五六〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	五七〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	五八〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	五九〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	六〇〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	六一〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	六二〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	六三〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	六四〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	六五〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	六六〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	六七〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	六八〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	六九〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	七〇〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	七一〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	七二〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	七三〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	七四〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	七五〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	七六〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	七七〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	七八〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	七九〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	八〇〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	八一〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	八二〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	八三〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	八四〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	八五〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	八六〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	八七〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	八八〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	八九〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	九〇〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	九一〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	九二〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	九三〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	九四〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	九五〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	九六〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	九七〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	九八〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	九九〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	
連射砲	番七番	一〇〇〇	七一	七一	五	二〇秒			晴	晴	

明治 世四年 四月 日

宮城隊 長門海軍中隊 新松村 西 雨

本表ハ陸上標的ヲ用ヒ艦砲、艇砲及野砲ヲ發射シタルトキ及海上標的ヲ用ヒ機砲ヲ發射シタルトキ之ヲ使用ス(例乙)而シテ艦隊(鎮守府)ノ成績報告表トスルニハ(例甲)ニ依ル

二標的ニ中リタル彈丸ハ每一發ニ十點ヲ附シ標的外ニ逸シタル彈丸ハ點數ヲ附スルコトナシ

三百分比欄内ニハ百發ニ付標的ニ擊中シ得ヘキ比例上ノ彈數又速度欄内ニハ一分時間ニ發射シ得ヘキ比例上ノ彈數平均速度欄内ニハ之カ平均ヲ記入スヘシ

四機砲ヲ艇砲或ハ野砲トシテ用ヒタルトキハ軍艦某機關砲ノ下ニ(艇砲或ハ野砲)ト書スヘシ

五記事欄内ニハ跳撃又ハ彈着不明等ノ事ヲ記スヘシ

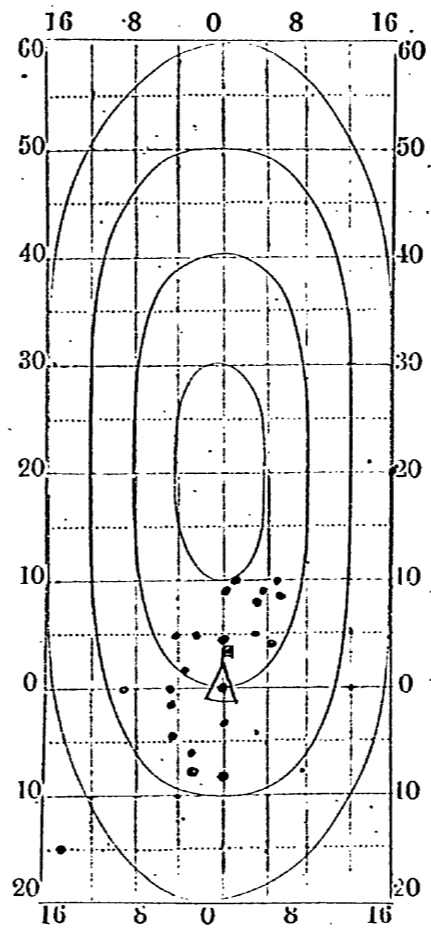
六備考欄内ニハ標的ノ種類又陸上標的ナルトキハ其ノ下邊ヨリ水面或ハ地面マテノ距離及其ノ他必要ノ事項ヲ記載スヘシ

軍艦宮古 艦砲射撃成績表

明治廿四年三月廿七日 清水松川海 二於テ施行

天候 曇り時々晴	風向 不変	風力 0.5	横動 最大 最小	縦動	速力 十五ノ
平均 千七百五米	平均 秒時 十一秒	發射彈數 廿三發	不命中 彈數	砲類 安式十二連射砲	

第一格圓内 十點
第二格圓内 八點
第三格圓内 六點
第四格圓内 四點
最外角圓内 二點
實際標的ヲ破壊シタル彈丸ハ何レ
ニ落下スルニ係ハラヌ十點トス



合得點 一四八 效果得點 六七三 戰國力得點 六七三

備考
此日天候晴、海風不変、視界良好、標的ハ清水松川海ニ於テ施行シタル。砲類ハ安式十二連射砲ニシテ、平均距離千七百五米ニシテ、平均秒時十一秒ニシテ、發射彈數廿三發ニシテ、第一格圓内十點、第二格圓内八點、第三格圓内六點、第四格圓内四點、最外角圓内二點ノ成績ヲ得タル。實際標的ヲ破壊シタル彈丸ハ何レニ落下スルニ係ハラヌ十點トス。

明治廿四年四月 日

宮古艦長海軍中佐 八代六郎 殿

宮古分隊長海軍中尉 松村三郎 殿

- 一 該格圓紙ハ初速六百米突未滿ノ重砲及一般ノ輕砲ニ使用ス
- 二 該表ハ軍艦ノ射撃成績ノ報告ニ併用ス戰國力得點ノ報告トシテ用フルトキハ發射速度最下限表備考中ノ例ニ準シ戰國力得點ヲ算出シ之ヲ記入スヘシ但シ數種ノ砲ヲ混射スルトキハ各別ニ其ノ戰國力得點ヲ算シ然ル后之ヲ平均スルモノトス
- 〔註〕標的ノ黑點ハ水面上約二米突ニ在リ之ヲ貫ク彈丸ハ計算上標的ノ背后十米突附近ヨリ四十五米突附近ノ間ニ落下スヘキコト、ナル故ニ此間ニ畫タル格圓内ヲ最高點トス
- 三 効果得點ハ合得點ヲ發射彈數ニテ除シ其ノ平均點數ヲ求メ之ヲ十倍シタルモノトス
- 四 該表ハ有效界限内ニ達スルモ無効トス
- 五 該表ハ成績調製ノ後各砲手ニ關スルモノハ之ヲ本人ニ下附シ保存携帶セシム

軍艦官艦 砲戰開射擊成績表

明治廿四年 三月廿七日
施行ノ場所 清水(海)

天候 曇 時々雨

風向 不定
風力 0乃至1

艦ノ平均速力 横動平均 15ノ
縦動平均 15ノ

砲種	發射彈數	命中彈數	百分比	平均距離	速度
重砲	六五	三	三七五	一千五百	五秒
輕砲	四四			一千五百	七秒
合計	一〇九	三	二七五	平均 一〇〇〇	平均 六

明治廿四年 四月 日

官占少隊 上野海軍中尉 松村 勇

備考 標的ニオキ表シニシ

一本表ハ輕砲、機砲ノ戰開射擊及艦砲ノ戰開射擊ニ於テ彈着點ヲ測定シ能ハサルトキノ成績表トシテ之ヲ使用ス
 二命中彈ハ標的ニ痕跡ヲ留メタルモノ、ミニ就テ計算シ成ルヘク重砲輕砲及機砲ノ成績ヲ區別スルヲ良トス若シ命中彈ノ大小ヲ區
 別シ難キトキハ各砲ヲ混合シテ百分比ヲ算出スルヲ得ルト雖モ平均距離其ノ他ハ別々ニ記入スルヲ要ス又艦隊ニテ行フタルトキ
 ハ標的ノ數ノ多少ニ關ラズ各標的ニ擊中シタル彈痕ト各艦ノ總發射彈數トヲ以テ本表ヲ調製ス